

岩 間 陽 子 教 授

専門分野：国際政治、欧州安全保障

学 位：博士（法学）（京都大学）

略 歴：1986年京都大学法学部卒、1988年同大学院修士課程修了、1994年同大学院博士後期課程、助手等を経て、1998-2000年在ドイツ日本国大使館専門調査員、2000年本学助教授、2007年本学准教授、2009年本学教授。

1. 業 績（A）

（1）学会発表

- * パネリスト：田中均、岩間陽子、山口昇、大塚海夫、中西寛「安全保障政策と司法」、日本防衛学会（春季）研究大会・午後の部（第7回）公開シンポジウム「安倍政権の外交と安全保障」、中央大学駿河台記念館、2014年6月14日、『防衛学研究』（日本防衛学会）第51号、2014年（平成26年）9月、28～33頁所収。
- * 岩間陽子「アデナウアー政権と西ドイツの核保有問題」、日本国際政治学会2014年研究大会（福岡）部会12「NATO核共有制度の起源 1956-1957年の同盟危機を中心に」、2014年11月16日、福岡国際会議場。
- * パネルディスカッション：西原正（司会）、佐瀬昌盛、岩間陽子、細谷雄一「集团的自衛権をめぐる議論」、日本国際安全保障学会2014年度年次大会 セッションVI部会、2014年12月7日、国土館大学。

2. 業 績（B）

（1）書評・解説等

- * 書評：岩間陽子「大動乱期を生き抜いた自由な精神」、田岡良一『国際法上の自衛権』、2014年10月26日、毎日新聞朝刊11面。
- * 書評：ジョン・J・ミアシャイマー『大国政治の悲劇』改訂版、奥山真司訳、五月書房 / Amitav Acharya, *The End of American World Order*, Cambridge: Polity Press, 2014, 日本政治学会『年報政治学2014』。

3. 助成金等による研究

- * 平成26年度科学研究費補助金（基盤B）「NATOにおける核共有・核協議制度の成立と運用」研究代表者
公開研究会を2014年5月31日と10月17日に計2回行った。1回目ではプロジェクト・メンバーの小窪千早が、「フランスの核戦略をめぐる議論とドゴールの核政策」と題する報告を行った。2回目では、防衛大学校名誉教授の佐瀬昌盛氏が、「同時代人の目から見た1960-70年代NATOの核問題」と題する報告を行った。7月26日には非公開の研究会を行い、小松製作所顧問の中川義章氏が「原子力技術の発展と国際政治」に関する報告を行った。2014年11月16日には、日本国際政治学会2014年度研究大会で「NATO核共有制度の起源 1956-1957年の同盟危機を中心に」と題する部会を開催し、プロジェクト・メンバーの岩間陽子、川嶋周一、新垣拓が報告を行った。40名を超える出席者があり、討論者の赤木完爾氏（慶應義塾大学）、倉科一希氏（広島市立大学）をはじめとして多くの出席者から意見が出され、活発な討論が行われた。

4. 教育

(1) 講義

- * International Relations (秋学期)
- * Advanced International Relations (秋学期)
- * International Relations in Europe (春学期)
- * Advanced International Relations in Europe (春学期)

(2) 演習

- * SISP Dissertation Seminar (春学期)

(3) 論文指導

- * 安全保障・国際問題プログラム：博士課程 8 名（主指導 3 名、副指導 5 名、うち 1 名学位取得）
- * 政策プロフェSSIONALプログラム：博士課程 1 名（副指導 1 名、学位取得）
- * Young Leaders Program：修士課程 2 名（主指導 2 名、学位取得）

(4) 研修事業

- * 大久保塾

5. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * Young Leaders Program Committee
- * 安全保障・国際問題プログラム・コミティー
- * Public Policy Program Committee
- * 図書館運営委員会

6. 社会的貢献（A）

(1) 財団法人等における活動

役員，委員会

- * 財団法人日本国際問題研究所会員
- * 財団法人平和・安全保障研究所会員・研究委員

(2) 学会等における活動

- * 国際安全保障学会監事
- * 日本国際政治学会会員
- * 日本政治学会会員
- * 日本 EU 学会会員

(3) 審議会等における活動

- * 安全保障の法的基盤に関する懇談会
- * 法制審議会委員
- * 防衛省新防衛政策懇談会委員 防衛庁において日本の防衛政策に関する説明を受け、それに対する意見を述べた。
- * 防衛省防衛施設中央審議会委員

7. 社会的貢献（B）

(1) ジャーナリズムでの発言

活字メディア

- * 書評：ミシェル・ヴィノック『フランスの肖像』（吉田書店）2014年4月13日（日）、毎日新聞朝刊 11頁
- * 書評：添谷芳秀、田所昌幸、デイヴィッド・A・ウェルチ編著『「普通」の国日本』（千倉書房）2014年6月1日（日）、毎日新聞朝刊 11頁
- * 書評：ジョン・ジェラルド・ラギー『正しいビジネス 世界が取組「他国籍企業と人権」の課題』（岩波書店）2014年7月27日（日）、毎日新聞朝刊
- * 鼎談書評：「花子とアン」の世界 高畠勲×岩間陽子×中村桂子 2014年8月31日（日）、毎日新聞朝刊 11頁
- * 書評：クリストファー・シルヴェスタ 編『インタヴューズ』 ・ ・ （文春学藝ライブラリー、2014）2014年9月7日、毎日新聞朝刊 10頁
- * 書評：パンカジ・ミシュラ『アジア再興 帝国主義に挑んだ志士たち』（白水社）2015年1月25日（日）、毎日新聞朝刊 10頁
- * 書評：山崎正和著『対談 天皇日本史』（文春学藝ライブラリー、2015）2015年3月15日（日）、毎日新聞朝刊 10頁
- * “Abe Shinzo’s Choices in 2015,” 23 Jan 2015, Discuss Japan, Editor’s Blog (<http://www.japanpolicyforum.jp/en/archives/editor/pt20150123201145.html>)
- * “Japan and the Centenary of WWI,” 22 Aug 2014, Discuss Japan, Editor’s Blog (<http://www.japanpolicyforum.jp/en/archives/editor/pt20140822013203.html>)
- * “Don’t You buy Womenomics?” 2 Apr 2014, Discuss Japan, Editor’s Blog (<http://www.japanpolicyforum.jp/en/archives/editor/pt20140402150813.html>)
- * 対談：『ウクライナ危機：見くびられたアメリカ、後手を踏んだEU』岩間陽子（政策研究大学院大学教授）×中山俊宏（慶應義塾大学総合政策学部教授）、中央公論 2014年5月号、66-73頁

電波メディア

- * NHK 日曜討論 2015年2月22日（日）9:00-10:00 『徹底分析 緊迫ウクライナ情勢』
- (2) 講演会, 座談会, 会議出席
- * 2014年4月10日 素交会講演「集団的自衛権について」
 - * 2014年5月13日 第12回日加安保シンポジウム 議題3 ウクライナ危機と冷戦後の国際関係への影響 討論者
 - * 2014年6月17日 OSCE 事務総長ザニエル氏 GRIPS 講演会 司会
 - * 2014年7月25日 EUSI 公開シンポジウム「ウクライナ危機と欧州の将来(2) ロシア・ウクライナの視点から」講演「ロシア=ヨーロッパ関係の将来」 日時：2014年7月25日（金）15:00-18:00； 場所：慶應義塾大学三田キャンパス（東館 G-SEC 8階ホール）； 講演者：松里公孝（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、岩間陽子（政策研究大学院大学教授）、藤森信吉（北海学園大学非常勤講師）、中村亮（外務省欧州局中東欧課長）； 司会：田中俊郎（慶應義塾大学名誉教授）
 - * 2014年10月1日 経済同友会会員セミナー講演「日本の安全保障と集団的自衛権問題」
 - * 2014年10月29日 コンラート・アデナウアー財団(KAS) Roundtable Discussion with Dr. Schockenhoff on “Maritime Security in South and East China Sea.” パネリスト
 - * 官邸有識者派遣事業で2014年11月28日-12月2日にモスクワ、アムステルダム、ワルシャワ、クラクフを歴訪。
 - * 2014年12月12日（金）1:00-5:30 p.m. 【特別シンポジウム】第一次世界大戦と現代

世界の誕生 会場：国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール 主催：公益財団法人国際文化会館、公益財団法人サントリー文化財団、公益財団法人渋沢栄一記念財団 基調講演：デイビット・A・ウェルチ / ウォータールー大学・中西 寛 / 京都大学； パネリスト：井上 寿一 / 学習院大学、岩間 陽子 / 政策研究大学院大学、細谷 雄一 / 慶應義塾大学； 司会および総括：五百旗頭 真 / 熊本県立大学

- * 2015年1月14日(水) SISP Seminar, Professor Dmitri V. Streltsov, “Situation in Russia and Russo-Japanese relations,” GRIPS Research Meeting Room 4B 1630-1800 司会。
- * 2015年1月20日(火) 一般財団法人経済広報センター 欧州動向シンポジウム『2015の欧州と日本と世界』 研究者が斬る。」「政治」庄司克宏慶應義塾大学法務研究科教授 「経済」田中素香中央大学経済学部教授 「外交・安全保障」岩間陽子 経団連会館2階経団連ホール 13:30 - 16:00
- * 外務省平成26年度内外発信のための多層的ネットワーク構築事業、2015年3月9日、イギリス上院においてルース・ヘニッグ上院議員との意見交換会パネリスト。